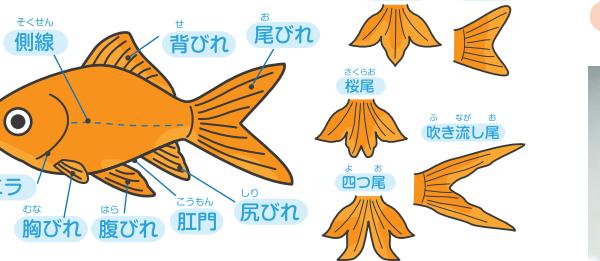


1 金魚のことをよく知ろう

金魚はとても飼いやすく、人によくなれるんだ。金魚飼育の歴史は古く、室町時代に中国から伝来し、江戸中期に愛玩動物として広まつたんだよ。

●寿命：10～15年 ●大きさ：約20cm
(ちいさな水槽だと大きくならないよ)

体の名前と尾びれの種類



なぜ赤くなるの？

藻やエビなどに含まれるカロチノイド色素を食べることで、きれいな赤色になるんだ。この色素を配合した「5つの力 色あげ」で赤く美しい金魚に育てよう。



人気の金魚たちを紹介するよ。



ワキン



リュウキン



ランチュウ



ピンポンパール



デメキン



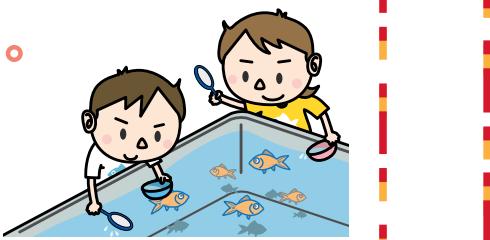
プリストル シュブンキン

2 塩水浴をしよう

7日間0.5%の塩水で旅の疲れを癒そう。

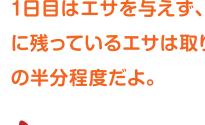
1 容器を用意しよう

洗面器(約4ℓ)やバケツ(約10ℓ)を用意しよう。約3cmの金魚の場合、洗面器は2匹まで、バケツは3匹までが目安だよ。



2 0.5%の塩水を作ろう

水1ℓに対して小さじ1杯(約5g)の天然塩を入れ、水道水のカルキぬき&金魚の粘膜を保護するプロテクトXを入れよう。



3 水温あわせ

金魚は水温変化が苦手だから、袋のまま20～30分容器に浮かべて、袋の中と容器の水温が同じになるまで待とう。



4 金魚を入れよう

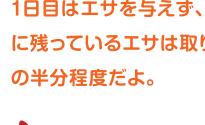
袋の水を半分すてて、容器の水と同じ量袋に入れ10分位待つ。もう一度くり返してから、金魚だけを容器に移そう。金魚が飛びださないようにネットをしてね。



7日後、金魚を水槽に移そう。もし元気が無い場合は、容器で元気になるまで塩水浴を続けてね。

5 エサをあげよう

1日目はエサを与えず、2日目からほんの少しえさを与え、5分後に残っているエサは取り除こう。エサの量は多くても目安量(P8)の半分程度だよ。



6 水を交換しよう

水は少しづつ悪くなるので、2日に1回ほんどの飼育水をすて、新しい塩水に交換しよう。水温が変化しないように注意してね。

※前日別の容器に塩水をつくり、翌日金魚だけを移動する方法もあるよ。



7 水槽に移そう

※成長するので、水槽が広いなと感じるぐらいで始めよう。



3 水槽で飼育しよう

キレイな水が長生きのコツ

水は尿や糞、食べ残しから『毒性の強い物質』が発生して、少しずつ『危険な水』へ変わっていくんだ。そこで『生物分解・化学吸着・水替え』をして『キレイな水』を維持しよう。



金魚(3～5cm)の飼育目安匹数

30～40cm水槽(12～25ℓ)	3～5 匹
45cm水槽(35ℓ)	6～7 匹
60cm水槽(60ℓ)	8～12 匹

※成長するので、水槽が広いなと感じるぐらいで始めよう。

- 毒性のある物質は透明だから、「透明な水」=「キレイな水」ではないよ。
- 水質が悪いときにエサを与えると、水が白く濁ったり、金魚が死んでしまうことがあるんだ。

エサを与えたときに、食べる勢いが弱いなど感じたら、水が悪いサインだよ。1/2～2/3程度水替えをして、2・3日エサをストップしてみよう。